

ポイント

◆◆特集◆◆

★安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインの一部改定について★

(国土交通省 道路局 環境安全課 道路交通安全対策室)

国土交通省道路局と警察庁交通局は、平成28年3月に「安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会」がとりまとめた提言を踏まえ、車道通行を基本とした安全な自転車通行空間を早期に確保するため、同年7月に「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の一部を改定しました。

本稿では、その改定の概要について紹介します。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★道路法第44条の2の改正に伴う不法占用物件に係る対策の強化について★

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

道路法第44条の2の改正に伴う不法占用物件に係る対策の強化について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★ICTを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理★

～「みっけ隊アプリ」の運用について～

(京都市 建設局 土木管理部 土木管理課)

京都市では、強みとする市民力・地域力を最大限に活かし、「自分たちのまちは自分たちで守る」との高い意識を持つ市民に対して市民参加を呼びかけ、市民と行政が共に取り組む市民協働型の維持管理の実現を目指すため、道路等の施設の損傷をスマートフォンから写真や位置情報付きで投稿できる、「みっけ隊アプリ」の開発に取り組んだ。

本稿では、システム上の課題抽出や検証のための実証実験を踏まえ、平成28年5月より本格運用を開始した「みっけ隊アプリ」の概要について紹介する。

.....
★オフィス街ロードクリーン2016★

(国土交通省 道路局 国道・防災課)

10月14日(金)朝、霞ヶ関・虎ノ門・永田町周辺の中央官庁や民間のビルに勤務する人たち

及び地元町会などのボランティアによる歩道の清掃が行われました。

集めたゴミはそのほとんどが落ち葉で、吸い殻やポイ捨てされたゴミは年々少なくなっていますが、中には不法投棄された粗大ゴミも見かけられました。

◆◆地域における道路行政に関する取り組み事例◆◆

★道路管理行政におけるOJTの取り組みについて★

(国土交通省 北海道開発局 建設部 建設行政課)

北海道開発局では、現在、行政を担う人材を育成するために、OJT (On-the-Job Training) を取り入れています。公物管理のうち道路部門においても、次世代の道路管理 行政の担い手育成に積極的に取り組んでいます。本稿では、当該取り組み概要をご紹介します。

.....

★熊本地震災害への対応と今後の課題について★

(大分県 土木建築部 道路保全課)

本年4月16日(土)未明に発生した「平成28年熊本地震」により、大分県の中央に位置する由布市、別府市で最大震度6弱を記録したのをはじめ、豊後大野市、竹田市、九重町、日田市で震度5強、その他の地域でも震度4以上となり、様々な被害が発生しました。特に社会インフラにおいては、高速道路や国県道、市町村道などを合わせて209箇所と道路関係の被災が多く発生しました。本稿では、熊本地震災害への対応及び復旧状況とともに、今後の課題についてご紹介します。

.....

★多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち★

～市道徳浦松崎線バイパス～

(津久見市)

平成22年度に事業化された市道徳浦松崎線バイパス事業は、当市の重要プロジェクトとして位置づけられており、市道徳浦松崎線(水晶山バイパス)と国道217号(平岩松崎バイパス)を一体的に整備する事で産業・防災・医療・観光の大動脈としての役割と効果が発揮できるものです。本稿では、当市の現状と課題とともに、市道徳浦松崎線バイパスの整備効果について報告します。

◆◆編集後記◆◆

海外から日本を訪れる観光客が累計 2,000 万人(平成 28 年 10 月時点)を超えるなか、観光スポットで人気の高いのが神社やお寺です。少し前まで、買い物を訪日の目的とする人が多く“爆買い”という言葉が流行しましたが、最近では、心に残る“体験型”の観光を目的として訪れる人が増えているようです。神社やお寺は歴史的な建築物が魅力的なだけでなく、「おみくじ」のような日本の慣習を体験できることも人気の高い理由となっているようです。

年に1度、初詣の際に「おみくじ」を引いて、新しい年の運だめしをしています。そのお寺では、以前より「おみくじ」の内容について、英語の説明書きが壁に貼りだされていました。ところが、今年のおみくじをみると、両面印刷されており、裏面に3ヶ国語(英語・中国語・韓国語)の説明書きが加えられていました。英語圏からだけでなく、中国や韓国などアジアからの観光客が増えていることを実感しました。また、今後は専用ガイドの育成にも力を入れていくとのことで、人気の高さが感じられました。

英語で吉凶は、大吉が「EXCELLENT LUCK (卓越した幸運)」、吉が「GENERAL LUCK (一般的な幸運)」、中吉が「MODERATE LUCK (ほどほどの幸運)」、凶は「BAD LUCK (不運)」など、日本語の微妙な意味の違いが表現されています。また、病気や仕事、金運など運勢もすべて翻訳されているため、理解が深まり楽しむことができます。一緒に訪れた米国の友人によると、自国では、「おみくじ」に似ているものとして、フォーチュン(運勢)・クッキーという“おみくじお菓子”があると教えられました。主に、米国やカナダ、オーストラリアの中華レストランで出されるもので、クッキーの中に小さく折られた紙が入っており、割って取り出します。紙には、日本のような吉凶ではなく諺や教訓、ジョークが書かれており、食事の際にゲーム感覚で楽しまれているようです。

「おみくじ」は、その昔、国の政治や後継者など重要事項を決める際、神様の御声を聞くための道具であった“神籤(かみくじ)”が起源と言われています。そのため、最初に神様・仏様に参拝をしてから引くのがマナーであるそうです。また、諸説あるようですが、読み終わった「おみくじ」は、良い結果のときはお財布に入れて1年間お守り代わりに持ち歩くと良いとされており、逆に、悪い結果が出たときには「結びどころ」へ利き手とは逆の手で結ぶと、吉に転じると言われているそうです。このように、まだ伝えられていないことも外国語で説明することができれば、もっと日本の慣習に親しんでもらえると思っています。

ちなみに、今年のおみくじの結果は、大吉を引き当て大喜びする友人を尻目に、私は凶と振るわぬ結果となり残念な気持ちになりました。そっと「結びどころ」に移動して、「おみくじ」を結んできたことは言うまでもありません。来年こそは大吉を引き当てたいと思っていましたが、「大吉は凶に還る」(吉が頂点に達するとそれ以上がないことを指す)という諺があることを思い出しました。幸運は、ほどほど(中吉)ぐらいがちょうど良いのかもしれない。(K)